

# YMCA学院高等学校 2015年度/自己評価チェックシート

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない  
※A～Dのいずれかに「☑」を入れてください。

分類	評価の観点	評価項目	問	設	問	A	B	C	D
学校運営	教育方針	スクールミッションについて	1	スクールミッションが教職員、生徒・保護者など、学校関係者によく浸透している。					
	教育課程	教育課程の周知	2	教育課程や教育活動について、生徒・保護者に適切に説明を行っている。					
		教育計画について	3	各科目の学習計画が生徒の学力に応じて適切に作成されている。					
	教職員連携	教員・教科間連携状況	4	教員間教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。					
		教員と事務職員の連携状況	5	教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。					
		会議の有効性	6	教職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効果的に機能している。					
	財務関係	財務に関する意識	7	学校の経営指標と財務状況について理解している。					
		財務状況の把握について	8	予算、決算の収支の状況について理解している。					
		評議員・理事会機能について	9	評議員会、理事会の役割や機能について理解している。					
	情報公開	ホームページの活用状況	10	学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。					
		保護者への情報公開	11	学校の諸活動について、学校通信・学校新聞を利用していねいに報告している。					
	安全管理	役割分担について	12	事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。					
		安全管理対応状況	13	安全管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。					
	開かれた学校づくり	地域交流について	14	地域や地域住民との交流ができています。					
教育内容	情報教育	情報能力育成	15	生徒の情報活用能力の育成を図っている。					
		情報モラル指導	16	情報の発信に伴う責任など情報のモラル面の教育に十分取り組んでいる。					
	人権教育	研究体制	17	人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法を教員が研究する体制がある。					
		教育体制	18	人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。					
	環境教育	環境問題意識向上	19	ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育をしている。					
		実践的態度の育成	20	生徒に校内・地域美化に取り組ませている。また、施設・設備を大切にすることを育成している。					
	健康・食育	健康・食に関する指導について	21	健康教育、食育などにも配慮している。					
		部活動	22	部活動・同好会活動は活発に行われている。					
		ボランティア	23	ボランティア活動は活発に行われている。					

その他	学校行事	24	イベントなど学校行事は活発に行われている。校外のイベントへの参加も活発である。				
	スポーツ・芸術文化	25	スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている。				
	国際理解	26	他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。				
生徒支援	生徒支援	指導方針の一貫性	27	生徒指導は学校の方針に従っている。			
		生活指導について	28	生徒の生活指導に組織的に対応する体制がある。			
		保護者との連携状況	29	生徒指導において、保護者との連携ができています。			
		生徒活動支援状況	30	生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。			
		カウンセリング体制	31	カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。			
	進路支援	学習支援について	32	学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。（教科指導を除く）			
		進路支援について	33	生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような支援体制がある。			
教員研修・資質向上	教員研修	教員の資質向上について	34	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。			
		校内研修	35	効果的な校内研修計画を立案し、教職員に実施している。			
		初任者のサポート状況	36	初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。			
		校外研修	37	教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。			
		研修成果の共有状況	38	研修、研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。			